

# 英佛女優人氣競へ

永代美知代

佛の名女優ミステーンジエツトの前で、『門閥』『母』『活動』の三語は大禁物  
英のガブリエル、レーは、結婚の日を忘れ、離婚の日を忘れる此上無しの健忘性

私は最近二通の私信を受取つた、一通は日入ちぬ國のロンドンから、今一通は花の都のパリから——  
日本で云へば律子、嘉久子の受けろやうな人氣を、その身一つに集めて居る、當世女優氣質の一面  
が残りなく此二通の私信に顯はれて居る——それを女優熱の盛んな日本の東京、この雑誌へ御紹介  
するのは決して諷刺や、あてこすりのつもりでは御座いません。

巴里  
よ　り

## 生みの母、假の母

——ミステーンジエツト嬢が舞臺外に演じた喜悲劇——

さん。一生に一度は巴里の芝居を見度ものど、お  
互によく話し合ひましたつつけね、併し今の今、誰でも  
巴里へ被入る方があれば、私は敢て警戒する、一等チ  
ヤーミングフルで、一等スピリチュアルな、人氣女優  
マドモアゼル、ミステーンジエツトの前で、たとへ

どんな事があつても、おくびにも出してはならない言  
葉がある、例へば、  
『門閥』——決して！決して！決して！嬢は高貴な門閥のお蔭  
で、恐ろしい災難を受けたのです。  
『母』——懐かしい、慕はしい言葉なのに、嬢はその

お母さんのお蔭で、恥の恥を受け  
たのです。

『活動寫真』 嬢の前では「活  
動」と云ふ二字だけでも、口をこ  
らしてはならない。嬢は「活動」  
に賣られたのも同じですからね。

ミステーションジエットの名は、それ  
はく大した勢ひで、その美貌、  
その衣装、その寶玉、その自動車  
貴族も、豪商も、巴里の世界は皆  
な彼女の前に跪いて、その名を稱  
へようとする。全く嬢に取つては  
大した成功と云はなければなら  
ない。

ところがこの人氣女優の胸の底には、たつた  
一つの望がある、曰く、高貴な門閥！これ  
がなくては、これまでの大成も、畢竟風  
の歌位にしかなんない！

そこで御注意を願ひ度いのは、このマドモ  
アゼール、ミステーションジエットの門閥はフラ  
ンスのムーランの小村にある。親母の名前は

とんだだらう？、フ、大したもんだわ——テ、テ、

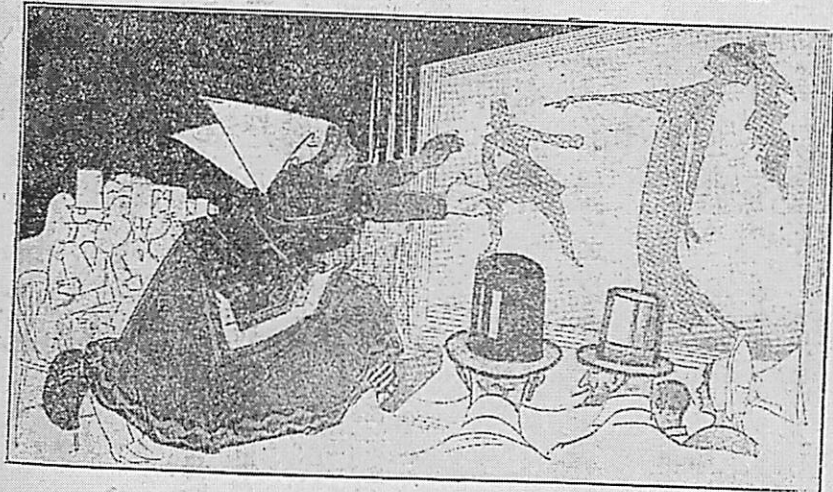
「ラ！」  
彼の女は直ぐその門閥を探し當てた。世界にたつた一  
人身の、食ふものと云へば昔の思ひ出の外、何一つな  
い、ツールネルの伯爵夫人を見つけ出した。そこでこ  
のお金持の巴里の有名  
な女優は、斯う云ふ相  
談を持ちかけた。

『あなた巴里へ来て、  
私のお母さんになつて  
一緒に暮しちや下さら  
なす？——私の高貴な  
門閥のあるお母さんにな  
つて！』

「あゝ、まあ好い思ひ  
つきだ事！」  
貧乏な伯爵夫人は、さう叫ぶと共に、富み且つ美しい  
女優の母親になつて了つた。

巻煙草の紙に定紋がついた。自動車にツールネル家の  
定紋がついた。テ、ミステーションジエットはコンテス、  
ド、ツールネルの令嬢であつたと云ふ噂が、忽ち全

英佛女優人氣跋へ



(やぢンチーバルア！やぢ嬢やぢ嬢、オ)

メール、バルゼロールと云つて、さうやかな  
洗濯婆さんである。勿論嬢の本名はバルゼ  
ロールを性として、名をアルバーチンと云ふ  
この小娘のアルバーチンが大望を抱いて巴里  
へ出奔し、幸福に一代の名聲を博する事が  
出来た。彼女は出奔の後、おふくろに音信  
をしなかつた。

即ちその結果として、ムーランの洗濯婆さ  
んのバルゼロールは、約十年の間たつた一人  
の娘を失くして居た。これに反して、その十  
年の間に、巴里女優中の女優となり了せた  
ミステーションジエットは、母親と云ふものを持  
つて居なかつた。

ほゞ此の世で叶はぬ願ひは無いと  
云ふ處まで滑ぎつめた、ミステ  
ーションジエットは、この時自ら心に嘯  
した『ああ此處で、もそつと偉く  
ならなくつちや、それには門閥が  
欲しい、馬車や自動車の定紋が欲  
しい。私のシガレットの紙につけ  
る定紋が欲しい。それさへあれば

巴里を驚ろかし來。それを當て込みになる大活動會  
社がさる『大活動』を演じて貰ひたいと懇望した。彼  
女の『藝術』は『活動』の中へ入つた。彼女は巴里でば  
かり芝居を打つて居るけれど、『活動』はおかまひなし  
に、フランス中を興業し廻つた。



(環トツエジン—テスミ花の里巴)

ムーランの小村の洗濯婆さん  
は、或る日仕事を早めにすませ  
て『活動』を見に出かけた。忘  
れるひまもないアルバーチンの  
姿が活けるが如く『活動』す  
るのを見るや否や、母親は飛び  
上つて打ち叫んだ。

『嬢ぢや！嬢ぢや！——アルバ  
ーチンぢや！』  
餘り騒々しいので、マナーチヤ  
ーが舞臺へ引張り込んで

『そんな夢があるもんですか、あれは有名なミステーションジエットと云ふ  
女優で、コンテス、ド、ツールネルと云ふ貴族のお母さんが居る。現に一  
緒に巴里で暮して居ますさあ』  
メール、バルゼロールは直ぐムーランの店を畳んで、舞臺が變ると、巴  
里の名女優の支那を消滅しく押し開けた。何事の騒ぎかとコンテスと

一緒に芝園へ立出でたミスティングエットの胸を噛りつゝした。

『まあ娘一アルバーチン』

わが名女優は半分正氣で、半分氣絶と云ふ際とい藝當を見せながら甚く改つて、

『まあお氣の毒な一私には歴とした母があります—これこのコンテスド、ツールネルがさうです』

『コンテスだ？人を馬鹿におしてない、そんなつもりで居るんなら私が巴里中觸れ廻つてやるから、覚えておいで—』

巴里の廣小路は、三日三晩この話を持ち切つた。

ミスティングエットは、生みの母に金を握らして、黙

# 倫敦より

## フォーゲットフル、ビウテ—

—カブリエル、レーはそれでも自分の生きて居ることだけは—

—さん。この間旅行俱樂部で、ウエストミンスター公がマルボロー公に出會つて、斯う云ふ會話を取り交はした。

『その後カブリエル、レーの近況を聞きましかね』

『又何か忘れましかね—新しい結婚の日取りでも』

『ハ、ッそれ處がやない、ロツダーから離婚された事

兩公のこの會話は、倫敦の胸に、この女優の忘れつ

ば加減を、幾もの事實によつて思ひ起させた。

全くカブリエル、レーは世界中で一等忘れっぽい美人

である。何か考へたかと思ふと、直ぐそれを忘れて了

ふ。まるで蝶のやうな考だ。頭へ入つたかと思ふと、

直ぐ出て了ふ。と彼女の最近のハズバンドが批評

した通りである。

カブリエルは小さい時から『物の忘れの神様』に育てられたと云

つても可い。殊にこの神様は娘

が生涯の最も大切な時に限つ

てより多くの感化を願はさう

とする、例へば結婚の日などが

それである。彼女は千九百二十

二年の二月二十九日に、エリック、ロツダーと結婚する事になつて居た。

その日エリックは二時間も前から教會で待ちほりかけておたのに、カブ

リエルはずつくり彼の事を失念して、その日一日放棄はなしにして置

いた。

『餘り忘れしかつたのだから、それを忘れて了つたのよ』

『結婚を忘れる位なら、私からあげた寶玉も忘れて了つたでせ



(口と眼きし美の—、ルエリガ)

らさうとしたが、我が高貴なる洗濯夫人は、自分の娘を取りかへさない以上、黙つて居る事は出来なかつたコンテス、ド、ツールネルが巴里に居た、まらなくなつて、姿を隠す、ミスティングエットがその唯一の門閥を失つたのを見定めると共に、再びムーランの小村へ歸つて、洗濯屋を開業した。

斯う云ふ譯で、メール、バルセロールはたつた一人の娘を失つた。巴里の名女優ミスティングエットはたつた一つの門閥を失つた。

『ロツダーは何と云つたかねえ』

『向き直つてね、マダム、あなたは自身を忘れておいでになる、と云つたよ』

うね

『あら、あなたを忘れないおまじなひに、ちゃんと寶石類は持つて歩いてますわ』

『兎に角明日こそ、あなたが私を忘れやうが忘れまいが、兎に角結婚してはう』

實際二人は兎に角結婚した。

その日カブリエルはさる宴會へ

招かれて、自分の馬車に乗つた。

幸なる哉、ロツダーは兼てか

らその馭者に心付を握らせて置

いた。で馭者は俱樂部へ馬を進

める代りに、教會へ此美人を送

り届けたのであつた。

處が如何でしやう『英國

中で一等美しいこの女

優』は、結婚しても覺え性にはなれなかつた。始終自

分が結婚したと云ふ一大事實を忘れておた。

『お前今日△△公爵と自動車で何處へ出掛けたのだ』

幾度となくハズバンドが苦い顔をして詰問した。

『あらエリック、あなた見つけたの？、だつて私何故

自分の好きな人と一緒に自動車へ乗つちや悪いんでせ